



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月12日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL http://www.amuse.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畠中 達郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 TEL 03-5457-3358
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	11,468	99.2	1,441	129.6	1,469	118.2	947	181.8
26年3月期第1四半期	5,755	△37.0	627	△56.6	673	△53.0	336	△60.6

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 945百万円 (141.7%) 26年3月期第1四半期 391百万円 (△56.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	109.75	—
26年3月期第1四半期	37.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	27,194	18,029	64.3
26年3月期	24,791	17,215	67.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 17,497百万円 26年3月期 16,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

26年3月期の第2四半期末及び期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 7円50銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,820	13.9	2,080	3.2	2,100	0.2	1,340	12.5	155.21
通期	29,680	△12.1	2,700	△25.9	2,740	△27.3	1,700	△22.9	196.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 2社 （社名）AMUSE ENTERTAINMENT SINGAPORE Pte.Ltd.、Amuse Group USA, Inc.

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	9,311,760株	26年3月期	9,311,760株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	678,581株	26年3月期	678,541株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	8,633,212株	26年3月期1Q	8,854,632株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の発表日現在において、平成26年5月14日に公表いたしました連結業績予想は修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当第1四半期連結累計期間の経営成績)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	増減	増減率 (%)
営業収入	5,755	11,468	5,712	99.2
営業利益	627	1,441	813	129.6
経常利益	673	1,469	796	118.2
四半期純利益	336	947	611	181.8

〔経済状況〕

我が国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により個人消費や住宅建設などが減速し、一部に持ち直しの動きもみられるものの、依然先行き不透明な状況であります。

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入114億6千8百万円（前年同四半期比99.2%増）、営業利益14億4千1百万円（前年同四半期比129.6%増）、経常利益14億6千9百万円（前年同四半期比118.2%増）、四半期純利益9億4千7百万円（前年同四半期比181.8%増）となり、大型コンサートの実施により会場やオンラインショップで販売するグッズ販売収入も含め好調に推移し、大幅な増収増益となりました。

<営業収入>

- ・ 当社アーティストによるイベント収入（大型コンサート）が増加
- ・ コンサートに付随してグッズ販売収入が増加
- ・ 当社アーティスト主演作品が好調だったことにより、DVD販売収入が増加
上記要因などにより、増収となりました。

<営業利益、経常利益、四半期純利益>

増収要因により増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	4,727	9,575	4,847	102.5
メディアビジュアル事業	494	1,158	663	134.0
コンテンツ事業	533	734	201	37.8
合計	5,755	11,468	5,712	99.2

(セグメント利益)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	814	1,397	583	71.6
メディアビジュアル事業	△63	90	154	—
コンテンツ事業	131	217	85	65.2
調整額	△254	△264	△10	—
合計	627	1,441	813	129.6

[アーティストマネジメント事業]

営業収入95億7千5百万円(前年同四半期比102.5%増)、セグメント利益13億9千7百万円(前年同四半期比71.6%増)となり、増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ イベント収入: <コンサート>
福山雅治、flumpoolのコンサートツアー
<舞台・公演>
熱海五郎一座「天然女房のスパイ大作戦」
- ・ 商品売上収入: コンサートグッズ、flumpoolのベストアルバムなど
- ・ 出演収入・CM収入: 三浦春馬、福山雅治、大泉洋、Perfume、深津絵里、吉高由里子など

<営業収入>

- ・ イベント収入(大型コンサートの実施)が増加
(前年同四半期はONE OK ROCKのコンサートツアー、熱海五郎一座、黒執事などの舞台を実施)
- ・ 商品売上収入が増加
上記要因などにより大幅な増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により大幅な増益となりました。

[メディアビジュアル事業]

営業収入11億5千8百万円(前年同四半期比134.0%増)、セグメント利益9千万円(前年同四半期は6千3百万円のセグメント損失)となり、大幅な増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ 映像作品販売収入: 福山雅治主演映画「そして父になる」、佐藤健主演映画「カノジョは嘘を愛しすぎてる」などのDVD販売

<営業収入>

- ・ 当社アーティスト主演作品が好調だったことにより、DVD販売収入が増加
(前年同四半期は「グッモーエビアン!」、「ジャッジ・ドレッド」、「スクリーン・ガールー発逆転婚!!」などを販売)
上記要因などにより大幅な増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により大幅な増益となりました。

[コンテンツ事業]

営業収入7億3千4百万円(前年同四半期比37.8%増)、セグメント利益2億1千7百万円(前年同四半期比65.2%増)となり、増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfumeなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

著作権印税の増加、PerfumeのVideoClip集の発売などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)	増減
総資産 (百万円)	24,791	27,194	2,402
純資産 (百万円)	17,215	18,029	813
自己資本比率 (%)	67.6	64.3	△3.3
1株当たり純資産 (円)	1,940.83	2,026.82	85.99

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,301	1,765	3,067
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308	△97	210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158	△135	23

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は271億9千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億2百万円増加いたしました。主な増加要因としましては、流動資産「現金及び預金」及び流動資産「受取手形及び営業未収入金」の増加、固定資産「投資有価証券」の取得によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は91億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億8千9百万円増加いたしました。主な要因としましては、流動負債「未払法人税等」の減少要因などはありましたが、流動負債「営業未払金」の増加要因などが上回り、全体としましては増加しております。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は180億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億1千3百万円増加いたしました。主な増加要因としましては、「四半期純利益」の計上などによるものであります。この結果、自己資本比率は64.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ15億3千2百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には85億5千7百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は17億6千5百万円(前年同四半期は13億1百万円の使用)となりました。

これは、主に法人税等の支払及び営業債権の増加による資金減少要因等はありませんでしたが、税金等調整前四半期純利益計上に伴う資金増加要因等が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9千7百万円(前年同四半期は3億8百万円の使用)となりました。

これは、主に定期預金の払戻による資金増加要因等はありませんでしたが、子会社株式の取得及び貸付けによる資金減少要因等が上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億3千5百万円(前年同四半期は1億5千8百万円の使用)となりました。

これは、主に配当金の支払による資金減少要因等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期の業績は概ね予定通り推移しており、平成26年5月14日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、AMUSE ENTERTAINMENT SINGAPORE Pte.Ltd.及びAmuse Group USA, Inc.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結累計期間において、㈱TOKYO FANTASYを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,049,520	11,081,828
受取手形及び営業未収入金	4,042,575	4,599,453
商品及び製品	1,297,490	1,399,154
仕掛品	1,921,201	1,890,081
貯蔵品	51,273	46,141
その他	1,396,170	1,832,676
貸倒引当金	△288,321	△267,642
流動資産合計	18,469,911	20,581,693
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,005,643	980,807
土地	2,047,730	2,040,998
その他(純額)	185,342	289,931
有形固定資産合計	3,238,715	3,311,737
無形固定資産	198,723	186,478
投資その他の資産		
投資有価証券	1,352,153	1,533,965
その他	1,538,270	1,586,266
貸倒引当金	△6,096	△5,779
投資その他の資産合計	2,884,327	3,114,452
固定資産合計	6,321,766	6,612,668
資産合計	24,791,678	27,194,361

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	5,185,239	6,840,775
未払法人税等	705,419	500,861
役員賞与引当金	25,000	—
返品調整引当金	7,400	15,100
その他	675,541	810,244
流動負債合計	6,598,600	8,166,980
固定負債		
役員退職慰労引当金	16,472	16,472
退職給付に係る負債	898,152	922,553
その他	62,697	59,216
固定負債合計	977,322	998,242
負債合計	7,575,923	9,165,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,890	1,694,918
利益剰余金	14,472,559	15,225,832
自己株式	△924,923	△925,024
株主資本合計	16,830,350	17,583,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,335	18,591
為替換算調整勘定	△93,052	△104,265
その他の包括利益累計額合計	△74,716	△85,673
少数株主持分	460,120	531,260
純資産合計	17,215,754	18,029,138
負債純資産合計	24,791,678	27,194,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業収入	5,755,912	11,468,479
営業原価	4,406,952	9,057,181
営業総利益	1,348,959	2,411,298
返品調整引当金繰入額	—	7,700
返品調整引当金戻入額	32,257	—
差引営業総利益	1,381,216	2,403,598
販売費及び一般管理費	753,545	962,544
営業利益	627,671	1,441,054
営業外収益		
受取利息	1,449	1,982
受取配当金	4,109	4,836
為替差益	10,045	15,278
受取手数料	4,051	3,990
貸倒引当金戻入額	31,523	20,745
その他	967	685
営業外収益合計	52,147	47,520
営業外費用		
持分法による投資損失	3,766	19,044
固定資産除却損	2,805	135
その他	1	78
営業外費用合計	6,572	19,258
経常利益	673,246	1,469,315
税金等調整前四半期純利益	673,246	1,469,315
法人税、住民税及び事業税	151,837	493,922
法人税等調整額	161,544	19,288
法人税等合計	313,381	513,210
少数株主損益調整前四半期純利益	359,864	956,104
少数株主利益	23,618	8,584
四半期純利益	336,245	947,520

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	359,864	956,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,951	255
為替換算調整勘定	24,187	△11,212
その他の包括利益合計	31,138	△10,957
四半期包括利益	391,002	945,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	367,383	936,563
少数株主に係る四半期包括利益	23,618	8,584

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	673,246	1,469,315
減価償却費	49,844	47,737
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△31,523	△20,996
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△37,200	△25,000
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△32,257	7,700
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△58,016	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	24,401
受取利息及び受取配当金	△5,558	△6,819
持分法による投資損益(△は益)	3,766	19,044
固定資産除却損	2,805	135
営業債権の増減額(△は増加)	669,059	△556,904
たな卸資産の増減額(△は増加)	△401,007	△65,423
営業債務の増減額(△は減少)	△853,729	1,655,535
未払消費税等の増減額(△は減少)	32,125	29,177
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△51,634	△291,405
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△211,072	160,249
その他	△117,070	△16,700
小計	△368,222	2,430,046
利息及び配当金の受取額	5,522	6,612
法人税等の支払額	△941,224	△692,579
法人税等の還付額	2,871	21,889
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,301,051	1,765,968
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,500,000	△500,000
定期預金の払戻による収入	1,500,000	1,000,588
有形固定資産の取得による支出	△12,226	△149,954
無形固定資産の取得による支出	△30,191	△22,895
投資有価証券の取得による支出	△260,000	—
子会社株式の取得による支出	—	△200,459
貸付けによる支出	—	△225,320
貸付金の回収による収入	716	11,055
その他	△6,444	△10,779
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308,146	△97,764
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2,413	△209
自己株式の売却による収入	—	137
少数株主からの払込みによる収入	—	73,500
配当金の支払額	△134,142	△195,168
少数株主への配当金の支払額	△19,530	△10,944
その他	△2,776	△2,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158,863	△135,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,768	△260
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,753,292	1,532,896
現金及び現金同等物の期首残高	8,126,336	7,024,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,373,043	8,557,297

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	4,727,869	494,988	533,054	5,755,912	—	5,755,912
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	15,772	54,367	28,734	98,874	△98,874	—
計	4,743,641	549,355	561,789	5,854,786	△98,874	5,755,912
セグメント利益 又は損失(△)	814,330	△63,581	131,721	882,470	△254,798	627,671

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△254,798千円には、セグメント間取引消去821千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△255,620千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	9,575,820	1,158,068	734,589	11,468,479	—	11,468,479
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	31,440	80,462	28,624	140,527	△140,527	—
計	9,607,261	1,238,531	763,214	11,609,006	△140,527	11,468,479
セグメント利益	1,397,654	90,744	217,575	1,705,973	△264,919	1,441,054

(注) 1. セグメント利益の調整額△264,919千円には、セグメント間取引消去2,995千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△267,915千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。